

民生技術の祭典「CES2025」で多様な製品展開

恒例の体験型展示に高い関心

高精細マンガ風画像を生成できるAIも披露

進化するVRシミュレーション技術



フォーラムエイト伊藤裕二社長(右)と同社がイベント・パートナーを務める大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」

高精細マンガ風画像を生成できるAI「Manga AI」が展示され、人気を博した。ブース前で自分を写真撮影すると、

民生技術の祭典CESは、以前の「家電展示会」から、多方面な技術の展示会へ大きく姿を変えた。とりわけ、近年は「開発・製造のための技術と製品」に焦点が当てられている。中心会場の一つ、ラスベガス・コンベンションセンターのセントラルホールは、家電メーカーが中



民生技術の祭典として知られる「CES2025」が、米国・ラスベガス(ネバダ州)において、1月7-10日(現地時間)に開催された。今年には14万1000人以上を集め、コロナ禍前と比べ8割の規模に回復した。フォーラムエイト(FORUM 8)は、昨年が続いてCESに出展し、同社の多様なツールとその連携を強く印象づけた。

ムエイトだ。複数年連続してこのエリアに出展しており、同社の体験型展示はある種のランドマークとなっている。



回転型シミュレータは、VRと体感の融合に人気となった

ドライブシミュレータ応用 病院でリハビリ用に導入

高精細マンガ風画像を生成できるAI「Manga AI」が展示され、人気を博した。ブース前で自分を写真撮影すると、

1/6の重力想定 月面走行のデモも

「MangameのAIにどんな学習させて、成長させていく。われわれがマンガ家の皆さんや大学の先生方と協力して学習させていく」として、AIはプログラムによる「地頭」だけでなく、「学習」の重要性を強調した。

ツール連携によるプラットフォーム構築
フォーラムエイトは、推進する事例が展開されている。同社のVRシミュレーション・ソフトウェア

マンガ風に生成されるデモを実施。背景も選択でき、思い描いたストーリーの主人公気分を味わえる。

CG制作ツール「Shade3D」は、メタバース空間のデータ作成に導入されている。作られたデータは、同社のバーチャルプラットフォームシステム「F8VPS」が支えるメタバースの中で利用され、同社ツールの生態系が作られている



CG制作ツール「Shade3D」は、メタバース空間のデータ作成に導入されている。作られたデータは、同社のバーチャルプラットフォームシステム「F8VPS」が支えるメタバースの中で利用され、同社ツールの生態系が作られている



大阪・関西万博のイベント・パートナーであるフォーラムエイトは、5月20日に万博で安全安心な未来に向けた提言をする



シミュレーションソフトウェア「UC-win/Road」による月面走行シミュレーション。来場者は、6分の1の重力下での運転を楽しんでいた

★若い才能集まる
同社のブースでは、現地の若い人たちがプレゼンテーションをしていた。伊藤社長によれば、「アリンナ州立大学の学生たちが当社にインターンに来てくれており、その縁で手伝ってくれている」という。各方面から優秀な人たちが集まっている様子が垣間見られた。